



着任のごあいさつ

心臓血管外科 主任教授

まえかわ あつお

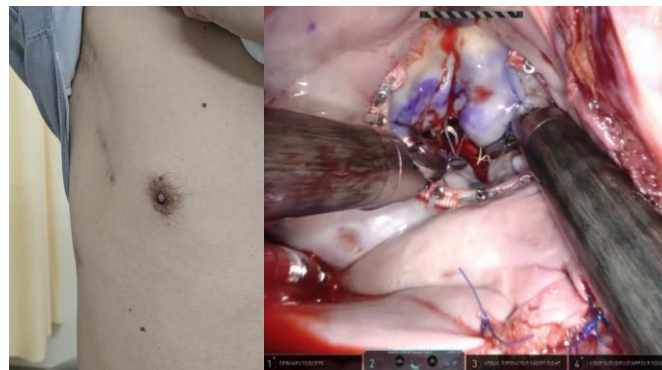
前川 厚生



2026年1月1日付で、名古屋市立大学心臓血管外科第3代主任教授を拝命いたしました前川厚生でございます。ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当科は2001年、旧第一外科より独立し、三島晃初代教授のもと小児先天性心疾患の外科治療を中心に診療を開始いたしました。その後、第2代須田久雄教授により成人心疾患領域の診療体制が拡充され、さらに成人先天性心疾患チームの設立を経て、現在に至っております。

私は1992年に名古屋大学医学部を卒業後、名古屋第一赤十字病院(現 日赤愛知医療センター名古屋第一病院)にて、成人および小児先天性心疾患の外科治療に従事し、多くの手術経験を積んでまいりました。その後、年間3,000例以上の心臓手術を行い、ロボット心臓手術を世界で初めて行った施設として知られるドイツ・ライプツィヒ大学心臓センターに留学し、右小開胸による低侵襲心臓手術(MICS)ならびにロボット支援下心臓手術を経験いたしました。帰国後は2010年よりMICSを本格的に導入し、さらに2019年からはロボット支援下心臓手術にも取り組んでおります。



Da Vinci (ダ・ヴィンチ) によるロボット支援手術

とくに僧帽弁形成術に注力しており、ライプツィヒ大学で確立されたLoop法による人工腱索再建術を中心に、低侵襲かつ質の高い弁膜症手術の提供に努めてまいりました。また、冠動脈バイパス術をはじめとする虚血性心疾患手術や、大動脈解離などの大血管手術にも数多く携わってまいりました。心臓大血管外科の特性上、緊急・準緊急手術の比率も高く、これまでの経験を通じて、迅速かつ安全な医療の提供に努めてまいりました。

本院は名古屋市の中心部に位置し、広域からの患者受け入れが可能な立地にあります。本年は救急災害医療センターも本格稼働する予定であり、地域医療機関の先生方との連携をより一層強化し、ハートチームとして高度かつ安全な医療の提供に努めてまいります。また、診療・研究・教育のさらなる充実を図り、地域医療への貢献と心臓血管外科医療の発展に寄与してまいりたいと考えております。

今後とも、名古屋市立大学心臓血管外科にご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

心臓血管外科 外来担当医師 (紹介初診予約枠)

※2026年4月現在

	月	火	水	木	金
初診	曾根 良晃	前川 厚生	中井 洋佑 榎原 梓良		(第2・4週) 影山 愛莉
先天性 (小児・成人)				杉浦 純也	(第1・3・5週) 吉田 雄一
静脈瘤外来		担当医			

24時間いつでも

HOT LINE

☎
090-5458-8105✉
ncucvs758@gmail.com

心臓血管外科ホームページ


<https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/section/department/shinzo/>

尋常性白斑・リンパ浮腫・眼瞼下垂に対応する 形成外科専門外来のご案内



とりやま かずひろ
形成外科 教授 鳥山 和宏

名古屋市立大学病院形成外科は開設以来11年を迎え、地域の先生方より多数の患者様をご紹介いただいております。心より御礼申し上げます。今回は、日常診療でご相談いただく機会が多い疾患の中から、特に、ご紹介いただきたい3疾患についてご案内申し上げます。

治療抵抗例に対する「尋常性白斑の再生医療」 － 形成外科 教授 鳥山 和宏 －

尋常性白斑は外用療法や光線療法が基本ですが、治療に反応しにくい症例も少なくありません。当院では、1年以上病勢が安定した12歳以上の患者様を対象に、保険適用となる自家培養表皮移植を行っております。当科は本治療を早期より導入し、豊富な実績を有しております。「外用・光線療法で改善が乏しい症例」がございましたら、ぜひご紹介ください。 <月曜日:鳥山外来>

オトガイ部尋常性白斑



術前

術後1年

早期介入を重視した「リンパ浮腫の専門診療」 － 形成外科 助教 中村 亮太 －

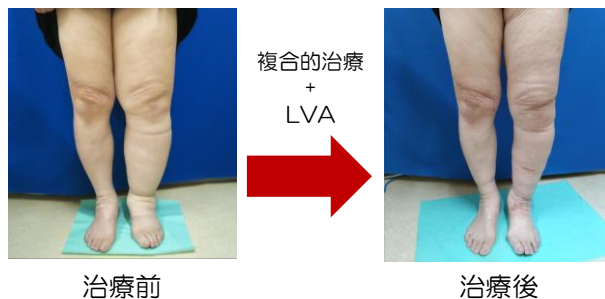
リンパ浮腫は進行に伴い不可逆的变化を来すため、早期評価と介入が重要です。

当院ではリンパ浮腫外来(木曜午前)を開設し、リンパ療法士と連携した診療を行っております。体液量測定やリンパシンチグラフィーなどの客観的評価に基づき、

- 複合的治療 (圧迫療法・運動療法・手動的ドレナージ)
- リンパ管静脈吻合術 (LVA)

を適切に選択しております。「軽度のむくみ」「原因不明の腫脹」の段階から対応可能ですので、お気軽にご相談ください。 <水曜日:中村外来/木曜日:リンパ浮腫外来>

74歳、女性 子宮癌術後 左下肢リンパ浮腫



治療前

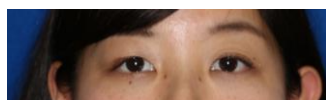
治療後

機能と審美を追求する「眼瞼下垂手術」 － 形成外科 臨床研究医 中川路 美雲 －

眼瞼下垂は視野障害のみならず、頭痛や肩こりの原因となることもあり、患者様のQOLに影響します。当科では挙筋腱膜前転術を中心に、機能回復と自然な外観の両立を目指した治療を行っております。「まぶたが重い」「視界が狭い」といった症状がございましたら、ご相談ください。 <月曜日:中川路外来/木曜日:石塚外来>



術前



術後1年

